

信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-17）

- 各種システムの導入状況 -

ポイント

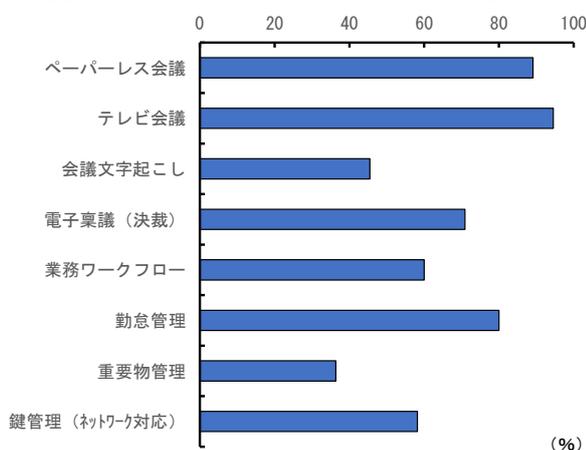
- 本稿は当研究所主催「経営戦略プランニング研修（2024年度）」の事前課題の集計結果となる（回答数は55金庫）。
- 各種システムの導入状況を確認したところ、ペーパーレス会議やテレビ会議の導入割合が8割を超え、これに勤怠管理、電子稟議（決裁）が続いた。
- 常勤役職員の減少や収益力の低下への解決策として業務効率化に期待する研修受講金庫は多く、各金庫ともBPRに寄与するシステム導入に前向きである。
- その一方で、システム導入に消極的な意見を挙げると、スケールメリットに起因する費用対効果やシステムに対する信頼性への疑問などのコメントがあった。

（注）本稿は、当研究所主催「経営戦略プランニング研修（2024年度）」の意見交換および個別信用金庫へのヒアリング等で得た情報をもとに作成している。

1. システム導入の有無

信用金庫の常勤役職員数の減少や収益力の低下が深刻な現在、業務効率化・BPR推進のためのシステム導入は不可欠となりつつある。そこで事前課題ではBPR関連に位置付けられる各種システムの導入状況を確認した。集計結果をみると、「テレビ会議」（94.5%）、「ペーパーレス会議」（89.0%）の導入率が研修受講金庫の8割を超え、これに「勤怠管理」（80.0%）、「電子稟議（決裁）」（70.9%）が続いた（図表1、2）。その一方で、「重要物管理」（36.3%）、「会議文字起こし」（45.4%）の普及率は5割を下回ったほか、「鍵管理」（58.1%）の導入金庫の中にはネットワーク未対応、一部対応にとどまるケースが含まれている。

（図表1）システムの導入状況（割合）



（図表2）事前課題の概要等

質問事項	【システム導入の有無】 ①ペーパーレス会議、②テレビ会議、 ③会議文字起こし、④電子稟議（決裁）、 ⑤業務ワークフロー、⑥勤怠管理 ⑦重要物管理、⑧鍵管理（ネットワーク対応）
対象金庫	経営戦略プランニング研修（2024年度）受講金庫
回答期間	2024年6月3日～7月31日
回答金庫数	55金庫
その他	幅広くBPR関連のシステムを想定
参考	詳しくは、金融調査情報（2024-10）「信用金庫の新しいビジネスモデル策定①-「経営戦略プランニング研修（2024年度）」の概要-」を参照

（備考）図表1から3まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 業務効率化ニーズの高まり

多くの研修受講金庫で人手不足が深刻になるなか、業容拡大、収益力強化、金融インフラ維持に向けた対応が求められている。これらの課題を解決するためにも業務効率化の加速は不可欠であり、そのための手段の一つとしてシステム導入を中心としたBPR推進ニーズが信用金庫の間で高まっている。

3. システム導入の課題

システム導入時の課題について研修受講金庫のコメントを挙げると、『業務効率化のためシステム導入を進めたいが、スケールメリットの観点から費用対効果に難がある』『サブシステム間の連携が難しいシステムや、信頼性（性能など）に課題を有するシステムも散見され、導入に慎重となっている』との問題提起があった。そのため『共同化やアウトソーシングへの更なる取組みが必要である』との意見もみられた。

4. 研修受講金庫のコメント

研修受講金庫による事前課題の主なコメントは図表3のとおりである¹。

（図表3）研修受講金庫のコメント例（実施の内容）

- 常務会、各種委員会等で活用（ペーパーレス会議）
- 紙使用と使い分けている（ペーパーレス会議）
- 営業店との融資常務会、店舗長会議にて導入済（テレビ会議）
- 僚店間や全体会議でも使用可能（テレビ会議）
- 導入するも、完全自動化には至っていない（会議文字起こし）
- 今後、AIによる要約システムの導入を検討（会議文字起こし）
- 融資稟議、自己査定で使用（電子稟議（決裁））
- 担当役員決裁までの融資稟議（電子稟議（決裁））
- ワークフローシステム導入にて殆どの業務をペーパーレス化（ワークフロー）
- 業務通知、庫内メール、掲示板、各種稟議（ワークフロー）
- スマホによる勤怠管理（勤怠管理）
- 勤怠・人事考課・自己申告等一元管理（勤怠管理）
- 在庫管理はオンライン・オフライン双方あるが、ペーパーレスには至らず（重要物管理）
- 全店舗に導入済（通帳等）（重要物管理）
- ネットワークと台帳の併用（鍵管理（ネットワーク対応））
- 自店内のみネットワーク対応（鍵管理（ネットワーク対応））

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

¹ 信用金庫のコメント等は研修受講者の個人的な意見・感想を含むものであり、受講金庫の正式なコメントではない。そのため事例の記載にあたっては信用金庫名が特定できないように修正してある（個別信用金庫名や詳細資料の提供依頼にはお応えしていません）。